



所信声明
妊娠中の喫煙と受動喫煙の軽減に向けた前向きな行動
**Positive Action to reduce Smoking and Second-hand Smoke
Exposure in Pregnancy**

背景

たばこを吸う若い女性や喫煙妊婦の増加に対する危惧が広がっている。妊娠中の喫煙は、母親と新生児にとって深刻な健康問題である。妊娠中の喫煙が健康へ及ぼす悪影響を知りつつも、喫煙を続ける妊産婦や少女は多い。世界保健機関（WHO）¹は、喫煙していた女性が妊娠を機に禁煙する割合は18%から25%だと推定している。妊娠中の喫煙や受動喫煙は、流産、死産、子宮外妊娠、早産などの深刻な妊娠合併症のリスクを高め、新生児や乳幼児、子どもの健康にも影響する（WHO 2013）。

「助産師の倫理綱領」²は、「助産師は、あらゆるライフステージの女性、家族、他の保健医療専門職に対して、健康増進の効果的な役割モデルとして行動する」、「助産師は、全ての女性および出産を迎える家族の健康を増進する医療政策の策定と実施に携わる」と明記して、ヘルスプロモーションへの助産師の社会的な責任を定めている。助産師は、妊産婦と子どもを迎えようとする両親の禁煙の推進に主たる役割を担っているのである。

喫煙と受動喫煙が国および個人、特に妊産婦と乳児の健康に与える長期的な影響は重大であるため、助産師は女性と少女の禁煙推進を目指す。国際助産師連盟（ICM）は、喫煙と受動喫煙が、健康に有害な影響をもたらすものからの暴露を避けるという子どもの権利に影響を与えること、また同時に、母親が喫煙したいという差し迫った欲求を持ちながらライフスタイルを選択する権利と、喫煙により避けられない社会心理的および生物学的な影響との間で潜在的な葛藤があることも認識している。医療専門職と地域の人々は、特に女性や子どもたちへのたばこに関連した健康リスクを減少させるための行動を開始する責任があ

¹ WHO. 2008. Report on the global tobacco epidemic, 2008 (foreword and summary). World Health Organization. 2008. pp. 8. "Tobacco is the single most preventable cause of death in the world today".

² ICM. 2014. International Code of Ethics for Midwives

る。

所信声明

ICM は、喫煙によって引き起こされる女性と乳児の健康に対する継続的な悪影響を認識する。

ICM は、喫煙をとりまく課題を積極的に検討し取り組むことを通して自国の人々の長期的な健康を変革する助産師の努力を支援する。

そのうえで、ICM は以下の行動をとる。

- WHO や他の保健に関連した国際機関と協力して、喫煙の蔓延と闘う。
- 喫煙問題に積極的に取り組んでいる国際的な政府組織・非政府組織にロビー活動を行う。
- さまざまな国の会員団体が喫煙問題に取り組むのを奨励し、禁煙キャンペーンと禁煙プログラムの開発を支援する。
- 妊娠前、妊娠中、周産期の女性に向けた科学的な根拠に基づく戦略の開発のために、出産期の女性の喫煙に関する研究を推進する。

会員団体への推奨

会員団体に対し、以下の行動をとることを求める。

- 喫煙と受動喫煙の問題に取り組み、多職種での国内の取り組みと国際的な知識の共有を支援することを宣言すること。
- 会員団体が、自国の中でさまざまな地域的および全国的に実施したアプローチの効果に関する経験を、他の会員団体と共有すること。
- 禁煙カウンセリングについて助産師の実践能力を強化すること。
- 助産師の禁煙を支援し、助産師自身の健康を保持すると同時に、健康問題においてより適切な役割モデルとなれるよう支援すること。

関連 ICM 文書

ICM. 2014 基本文書 助産師の倫理綱領

その他の関連文書

Kobe Declaration (WHO, November 1999)

Bolling K, Owen L. (1997) *Smoking and Pregnancy: a Survey of Knowledge, Attitudes and Behaviour*. London, UK: Health Education Authority.

Health Education Authority (1998). *Smoking and Pregnancy, a Growing Problem*. London, UK: Health Education Authority.

Raw M. (1997) *Action on smoking in Pregnancy. An information Pack*. London. HEA

Raw M, McNeill A, West R. (1998) Smoking Cessation Guidelines for Health Professionals. *Thorax* 53(supp.5 part 1) S1-19

Royal College of Nursing and Health Education Authority (1999). *Clearing the Air, a Nurse's Guide to smoking and Tobacco Control*. London, UK: RCN/HEA.

[WHO Report on the global tobacco epidemic, 2008 \(foreword and summary\)](#). [World Health Organization](#). 2008. pp. 8. "Tobacco is the single most preventable cause of death in the world today".

WHO. 2013. *WHO Recommendations on prevention and management of tobacco use and second-hand smoke exposure in pregnancy*

2002年ウィーン国際評議会にて採択

2017年トロント国際評議会にて改訂

次回の見直し予定：2023年

2017年 公益社団法人日本看護協会、公益社団法人日本助産師会、一般社団法人日本助産学会 訳

ICM発行文書の原文については、ICMが著作権を有します。

日本のICM加盟団体である日本看護協会・日本助産師会・日本助産学会は、ICMの許諾を得て日本語に翻訳しました。

日本語訳の著作権については、原文作成者であるICMと日本看護協会・日本助産師会・日本助産学会に帰属します。

原文の転載引用については、ICMに連絡し使用許諾を得てください。

日本語訳の転載引用については、日本助産師会<http://www.midwife.or.jp/>に連絡し使用許諾を得てください。